

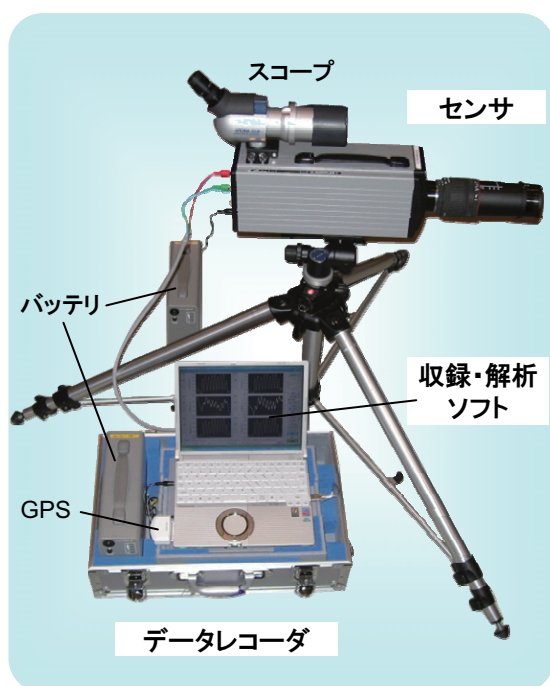
構造物診断用 非接触振動測定システム「Uドップラー」

【概要】

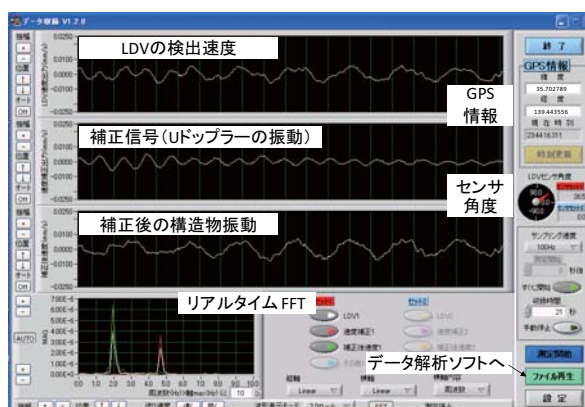
構造物の常時微動や列車走行時振動を、簡単かつ安全に遠隔非接触測定できる装置です。高架橋や橋梁などの構造物を対象として、日常点検、災害時の損傷検出、および各種調査を目的とした、様々な振動測定作業への適用をめざしています。

【特徴】

- 構造物の振動をワイドレンジかつ長距離非接触で測定可能
- 常時微動など微小な振動を高精度に測定できる補正技術
- 現場使用に適したシンプルな装置構成とデータ収録・解析ソフト



Uドップラー外観



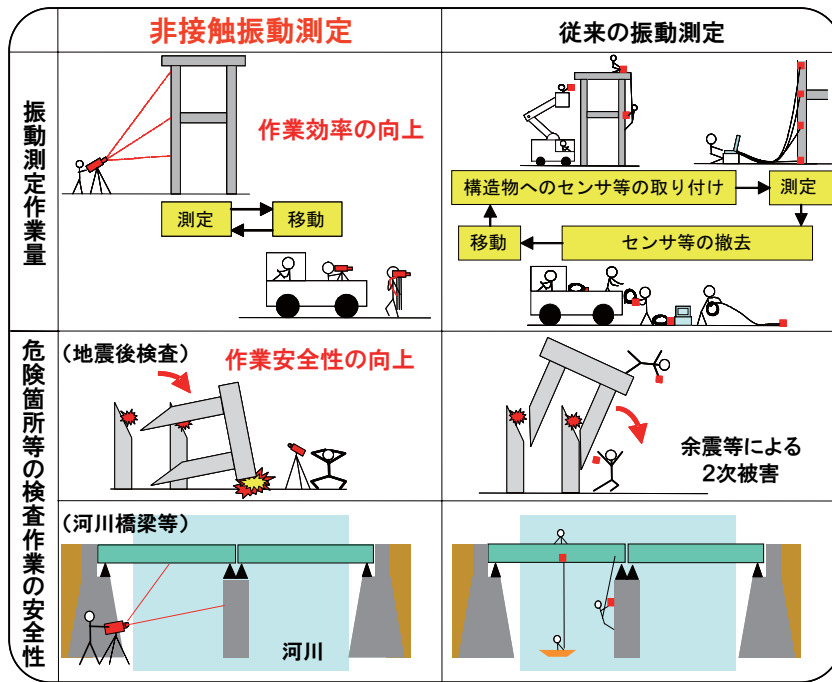
専用のデータ収録・解析ソフト

主な仕様(センサ部)

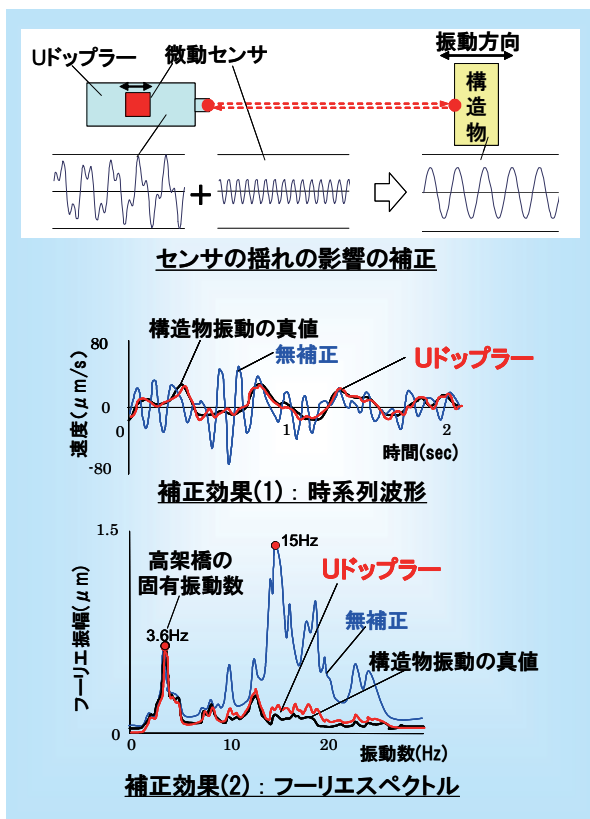
	仕様
サイズ・重量	113×141×351 mm・約5.5 kg
電源	バッテリー(DC16 V)またはAC100V
レーザー光量	安全規格クラス2
測定速度範囲	0.2 μm/s～100mm/s
応答周波数範囲	DC～600 Hz
測定距離	約1～100 m超(反射シール使用時)

【展開】

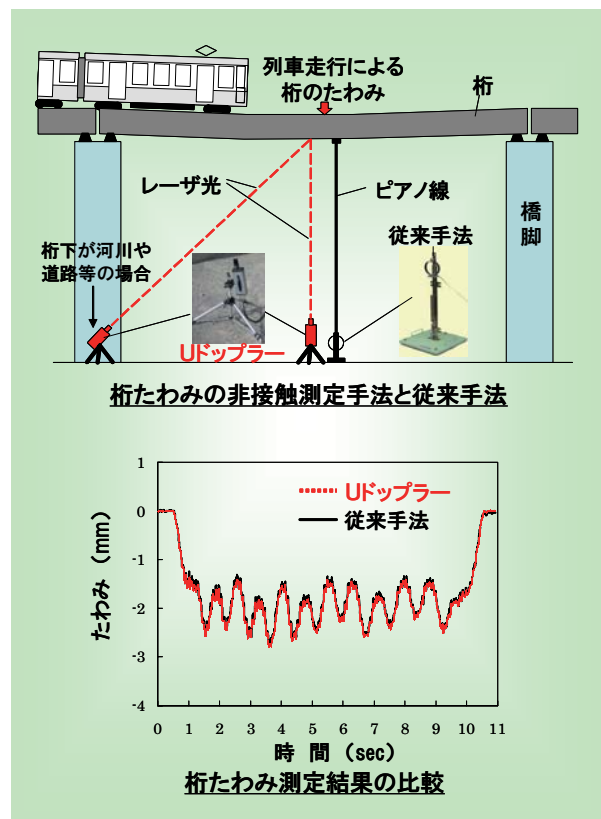
- 構造物診断用計測装置として鉄道事業者等への導入が進んでいます。
- 反射ターゲット形成装置や無線通信化ユニット等の付属品も開発しました。
- 高架橋、橋梁、建築物および岩盤斜面等の様々な検査方法を提案します。



Uドップラーの構造物振動測定作業への導入効果



補正技術と高架橋の常時微動測定例



Uドップラーによる桁たわみ測定例